

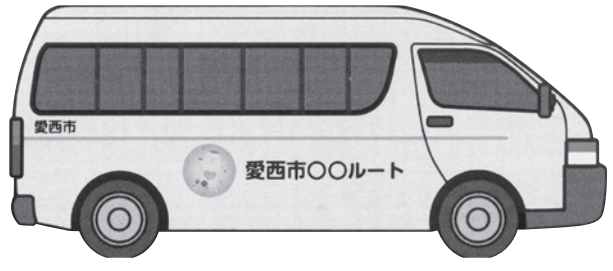


巡回バスに利便性高い デマンド交通の導入を

鷲野 聡明 議員

課題解決へできるものは
実施したい

市長



▲愛西市巡回バス

隣の海津市や稲沢市は利用したい日時を事前に予約し、最寄りバス停から目的地のバス停まで乗り合いで運行するデマンド交通が大変市民に好評と聞く。愛西市巡回バス委託料より安い費用で八開、立田地区の有料デマンド交通として、試行的にタクシー会社へ委託したらどうか。

総務部長 予約できる体制が常時必要であるため、車両管理体制や人件費等の費用と現在の巡回バス運行管理費用を比較

して、地域にとってより有効な方法を検討したい。
市長 市としても、今後も巡回バスの利用を利用者、多くの方々、必要な方に有効に利用してもらえるよう、できる限りそういう形態をつくるよう努力していきたい。

**防災行政無線の
充実強化を**

デジタル防災行政無線が供用開始されまもなく2年が経過する。改めて

総事業費について尋ねる。

次に近隣市からは子どもの安心・安全、選挙啓発、地域イベント案内などが漏れ聞こえてくるが、調査しているのか。

市民協働部長 総事業費は約5億5千万円。

防災行政無線の近隣市での運用はまちまちで、子どもの安心・安全、下校時の児童の見守りは、弥富市、海津市で実施。防犯啓発、地域イベント案内は海津市で実施している。

市民の安心・安全の意味からも運用の充実は。

市民協働部長 他の手段もある中で、交通事故抑制ということでは防災行政無線を利用することは行わない。

教育部長 見守り放送の実施について意向調査は行っていないが、引き続き充実したスクールガード活動を願っています。



▲防災行政無線